

約60%もの節電と明るい施設空間を両立 従来と同形状の直管形LEDで置き替えもスムーズ



導入先

社会福祉法人七峰会 障害者支援施設 拓光園さま

- 青森 / 弘前市
- 1974年開設。2001年3月新園舎完成。定員90名の施設入所支援・生活介護および通所型の生活介護事業を中心に、障害者やその家族に対する様々な支援・援助が行われている。



導入商品

LED照明

直管形 DL-TF4102×35台、DL-TF4202×19台
直付型/ストレート型 DL-NB01NM×34台
シーリングライト DL-C303V×6台 合計94台

- 2012年1月、第一期工事として管理棟の照明をLED化。今後、居住棟のLED化も進め、全館のLED化を目指す。

販売：ハッピーハウス マエダさま

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

節電要請に応じて、こまめな消灯や蛍光灯を間引くなどの対応をしてきましたが、施設内が暗い印象になるためLED化を検討。従来の照明器具に近い形状でスムーズな交換ができることを望んでいました。

従来使用してきた蛍光灯に近い形状の直管形LED照明により、天井の改装をせずに置き替えできました。

直管形タイプは出力設定ができるため、出力を70%に設定。希望の明るさを確保しながら照明において約60%の節電を実現。

玄関には調光・調色ができるシーリングライトを採用。夏場は寒色系で涼しさを、冬場は暖色系で暖かさを演出。



社会福祉法人 七峰会
理事長 奥田 稔さま

社会福祉法人 七峰会
障害者支援施設 拓光園
理事 園長 工藤敏夫さま

■ 選ばれた理由

**従来照明に近い形状で置き替えがスムーズ。
出力設定で明るさと節電のバランスも選べる。**

天井裏の構造上、同じ場所にしか照明が設置できないということもあり、従来の照明器具とほぼ同じ形状の直管形LED照明に着目しました。しかも、設置時に出力設定ができ、明るさと節電のバランスが選べる点にもメリットを感じました。当施設では70%の出力設定で、照明の消費電力が従来比約60%の節電になることに納得しました。

■ 導入後の効果

**大幅な節電と明るい空間の両立を実現。
玄関はシーリングライトで季節ごとに明かりを演出。**

第一期工事として、管理棟のベース照明をまずLED化。全体の約1/3の数に当たり、毎月3～4万円の電気代削減につながっています。しかも、従来よりも明るくなり、楽しい空間づくりにも貢献しています。玄関の照明は調光・調色できるLEDシーリングライトを採用し、夏場は寒色系で涼しさを、冬場は暖色系で暖かみのある空間を演出しています。

■ 今後の展望

**全館LED化を目指して引き続き導入を計画。
グループの他の施設への採用も検討中。**

居住棟にあたる残り約2/3の照明も、第二期、第三期工事で全てLED化していく計画です。全館のLED化とその他の節電努力で、ワンランク下の契約電力が適用されれば、一層の電気代削減が見込まれます。当施設の導入効果を踏まえ、グループで所有する他の5ヵ所の入所型施設、2ヵ所の通所型施設を始め、自立支援住宅など多数の関連施設のLED化も検討したいと考えています。

■ 導入の背景

**節電で施設内が暗くなることを避けるため、
全館の照明をLED化することに決定。**

2011年、東北電力管内で夏場のピーク時において15%の節電が義務づけられるなど、施設の省エネ化が大きな課題となりました。こまめな消灯を始め、照明を間引いたり、様々な機器のコンセントを抜くなど、職員総出で節電努力を行ってききましたが、このような従来の対応は、施設内が暗い印象になってしまうため、LED化を推進することにしました。



ホール (DL-NB01NM/DL-TF4102)



玄関 (DL-C303V)。冬場は暖色系に調色して暖かさを演出



会議室 (DL-NB01NM)



医務室 (DL-TF4202)